

# ANOTHER STATION 小千谷さくら病院

## コンセプト

元々は1980年に国立療養所西小千谷病院として建設され、社会福祉法人長岡福祉協会が2001年に移譲を受け、小千谷さくら病院として開設されたものである。

新病棟建設コンセプトは、「入院患者さんの快適で効果的な療養環境」「働くスタッフの視点に立った合理的で効率的な職場環境」の整備である。  
特に当病院は、「特殊疾患患者さんを専門に受け入れる数少ない病院」という特徴を生かしながら「地域高齢者の慢性期医療を支える最後の砦」として、地域社会との絆を深め、小千谷の地から世界に発信する「医療、看護、介護」を目指している。

そこで、「もうひとつの我が家としての居場所：ANOTHER STATION」を提案するものである。  
建設地はかつて飛行場の跡地でもあり、漆黒の宇宙に浮かぶ美しい星：地球号が足を留めるもう一つのステーション！宇宙のアルコーブ病床室のダイバーシティ：宇宙船の乗組員の様々な状態により選ぶことが出来る居場所でもある。

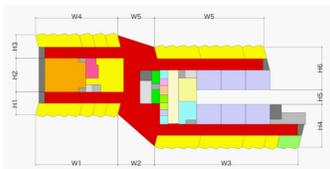
## 外観デザイン

平面計画はオーソドックスな手法から、本計画に必要な要求に合わせて「分節」「ずらし」の操作を重ね機能から導きだされた雁行ボリュームが外観デザインにも表出している。

### 平面ダイアグラム

- 1 平行配列  
建築計画の基本形1
- 2 ブロック分節  
建築計画の基本形2
- 3 平面計画の基本形  
建築計画の基本形3
- 4 直列病室の配列  
個室、2床室、3床室、4床室
- 5 北ブロックのスプリット  
図の字4床室の必要性
- 6 外壁なめカット  
現代建築デザインのエッセンス
- 7 サービス諸室の配列  
ナースステーション、変電室、各病室
- 8 フレキシブルな最終平面計画と病室の雁行  
用途や条件に合わせて、W1-W6、H1-H6までの寸法をそれぞれ別々に変えても建築計画が成立する。様々な大きさの個室を中心に、図の字を軸に立てられるように、病室を雁行させ、ベッドを斜めに設置。

### スタディ模型

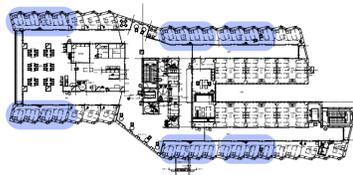


## 直列4床室

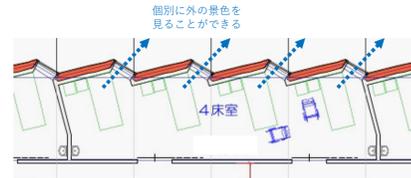


直列4床室の内観

### 直列4床室

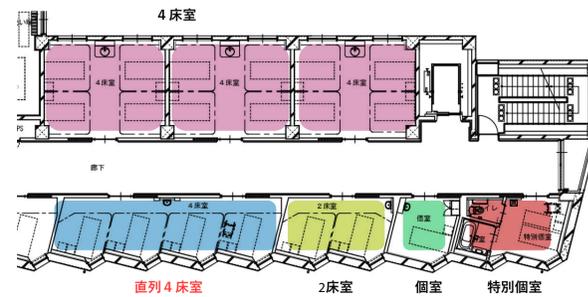


2,3階プラン



直列4床室詳細

4床室でも各個室のベッドから個別の景色を見ることができ、患者さんのプライバシーを高める居心地の良さと、看護師が状況を見渡しやすい合理性を兼ねそろえた計画。他にもオーソドックスな4床室、2床室、個室、特別個室とバラエティーを用意した。



病室のバラエティー

## 配置計画

既存の第一病棟、第二病棟を解体し、新病棟を計画。将来施設を拡張できる余白を残して配置を計画している。



第一病棟、第二病棟解体



西面外観を見る。決められる雁行機能とそのまわりの外観デザインとしても表出している。

## 各写真



玄関正面を見る



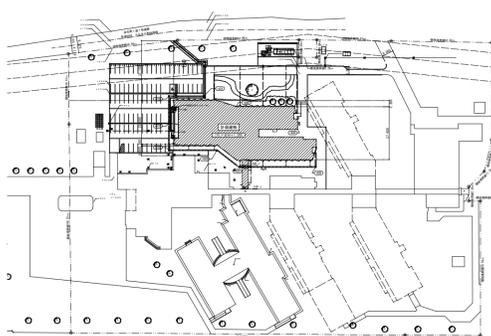
1階 EVホール



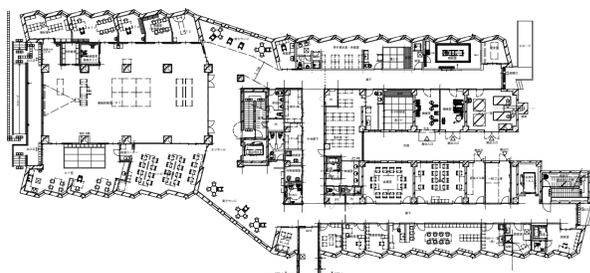
2階 ナースステーション前



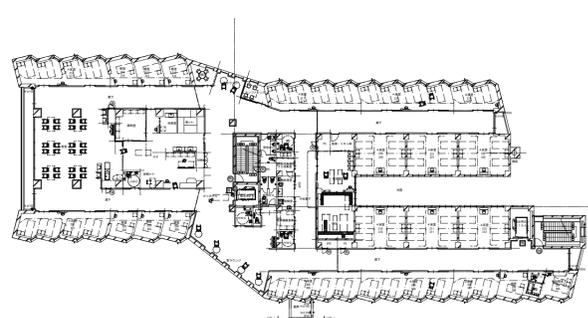
3階 ナースステーション前



配置図



1階平面図



2,3階平面図